

熟語の組み立て

《テストに出やすい熟語の組み立て》

上が主語・下が述語

例 国宮(国が宮む)

主語を表す

上から「が」を入れて読むと
熟語の意味になる。

上が下を修飾している。

くわしく説明している。

例 青空(青い空)

若葉(若い葉)

上から訓読みすると熟語の意味になる。

下から上へ読むと意味が分かる

例 貯金(お金を貯める)

登山(山に登る)

下から「を」「に」を入れて読むと
熟語の意味になる。

上が下の意味を打ち消す

「〜ない」という意味

例 非常(常ではない)

いつも

※「不・無・未・非」が語の頭につく!